

正 誤 表

「健康・栄養系の運動生理学（栄養・スポーツ系の運動生理学 改訂第2版）（第1刷）」

下記の箇所に誤りがございました。謹んでお詫びし訂正いたします。

頁	該当箇所	誤	正
6	図 1-3 出典	～ <i>J Nutr Sci Vitaminol</i> 57 (1) : 22-29, 2011 <u>より許諾を得て転載</u>]	～ <i>J Nutr Sci Vitaminol</i> 57 (1) : 22-29, 2011]
12	図 1-8 出典	～ <i>静脈経腸栄養</i> 24 (5) : 1013-1019, 2009 <u>より許諾を得て転載</u>]	～ <i>静脈経腸栄養</i> 24 (5) : 1013-1019, 2009 <u>より引用</u>]
57	図 4-12 出典	[町田修一：スポーツ選手の骨格筋機能. スポーツ現場に生かす運動生理・生化学（樋口 満編・著），p.52, 市村出版, 2011 <u>より許諾を得て転載</u>]	[大石康晴：骨格筋の構造. 運動生理学20講（勝田 茂編集），p.1-7, 朝倉書店, 1993(こ加筆) [町田修一：スポーツ選手の骨格筋機能. スポーツ現場に生かす運動生理・生化学（樋口 満編・著），p.52, 市村出版, 2011 <u>より引用</u>]
114	図 9-1 出典	～ <i>人類学雑誌</i> 97 (1) : 51-62, 1989 <u>より許諾を得て転載</u>]	～ <i>人類学雑誌</i> 97 (1) : 51-62, 1989]
128	図 10-6 出典	～ <i>日本臨牀</i> 62 (増刊号 2) : 225-232, 2004 <u>より許諾を得て改変し転載</u>]	～ <i>日本臨牀</i> 62 (増刊号 2) : 225-232, 2004 <u>より引用</u>]
157	表 12-1 出典	～ Wolters Kluwer Health/Lippincott Williams Wilkins, 2022 <u>より許諾を得て転載</u>]	～ Wolters Kluwer Health/Lippincott Williams Wilkins, 2022 <u>より翻訳して引用</u>]
160	図 12-5 図説	～各危険因子の保有割合を示している.	～各危険因子の保有割合を示している. * トレーニング前後の比較で $p < 0.05$.

162	図 12-6 出典	～高血圧治療ガイドライン 2019, p.64, ライフサイエンス出版～	～高血圧治療ガイドライン 2019, p.64, <u>図 4-1</u> , ライフサイエンス出版～
168	表 13-2, ならびに出典	略	別紙参照
170	図 13-3	略, 右図へ差し替え	<p>The diagram illustrates the progression of locomotion syndrome. It starts with a person walking, then carrying a bag, then using a cane, and finally using a wheelchair. The progression is shown in a red gradient box. On the left, under '骨' (bone), are listed: 関節軟骨/椎間板 (articular cartilage/intervertebral discs), 神経/筋肉 (nerves/muscles), 骨粗鬆症 (osteoporosis), 骨折 (fracture), 変形性関節症 (osteoarthritis), 変形性脊椎症 (degenerative spondylosis), 神経障害 (neuropathy), and サルコペニア (sarcopenia). A bracket groups '変形性脊椎症' and '神経障害' as '脊柱管狭窄症' (spinal stenosis). In the middle, under '痛み/痺れ' (pain/numbness), are listed: 関節可動域制限 (range of motion restriction), 柔軟性低下 (decreased flexibility), 姿勢変化 (postural change), 筋力低下/麻痺 (muscle weakness/paralysis), and バランス能力低下 (decreased balance ability). A double-headed arrow connects this middle section to the right section. On the right, under '移動機能の低下 (歩行障害)' (decreased mobility (walking disability)), are listed: 生活活動制限 (restriction of activities of daily living), 社会参加制限 (restriction of social participation), and 要介護 (need for nursing care). Below the diagram, it says: ※適切に対処すれば再び移動機能は向上します. (If handled appropriately, mobility can improve again.)</p> <p>図 13-3 ロコモティブシンドロームのしくみ [日本整形外科学会：ロコモティブシンドローム予防啓発公式サイト ロコモオンライン https://locomo-joa.jp/locomo/#section01 (最終アクセス：2024年2月20日) より許諾を得て転載]</p>
177	図 13-6 出典	～ <i>BMJ Open</i> 7 (10) : e014706, 2017 より許諾を得て改変し転載]	～ <i>BMJ Open</i> 7 (10) : e014706, 2017 より 抜粋]
190	◆肥満度分類 出典	～肥満症診療ガイドライン 2022, p.2, 2022 より～	～肥満症診療ガイドライン 2022, p.2, <u>表 1-3</u> , ライフサイエンス出版, 2022 より～
190	◆運動療法のプログラムの原則 出典	～肥満症診療ガイドライン 2022, p.62, 2022 より～	～肥満症診療ガイドライン 2022, p.62, <u>表 5-4</u> , ライフサイエンス出版, 2022 より～

191	◆ 成人における血圧値の分類 出典	[日本高血圧学会高血圧治療ガイドライン作成委員会：高血圧治療ガイドライン 2019, p.18, 2019 より～	[日本高血圧学会高血圧治療ガイドライン作成委員会(編):高血圧治療ガイドライン 2019, p.18, <u>ライフサイエンス出版, 2019</u> より～
191	◆ 高血圧予防・改善のための生活習慣の修正項目 出典	[日本高血圧学会高血圧治療ガイドライン作成委員会：高血圧治療ガイドライン 2019, p.64, 2019 より～	[日本高血圧学会高血圧治療ガイドライン作成委員会(編):高血圧治療ガイドライン 2019, p.64, <u>表 4-1, ライフサイエンス出版, 2019</u> より～

2024年5月7日
株式会社南江堂

(表 13-2 別紙)

表 13-2 基本チェックリスト

No.	質問項目	回答 (いずれかに○を お付けください)
1	バスや電車で1人で外出していますか	0. はい 1. いいえ
2	日用品の買物をしていますか	0. はい 1. いいえ
3	預貯金の出し入れをしていますか	0. はい 1. いいえ
4	友人の家を訪ねていますか	0. はい 1. いいえ
5	家族や友人の相談にのっていますか	0. はい 1. いいえ
6	階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか	0. はい 1. いいえ
7	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	0. はい 1. いいえ
8	15分位続けて歩いていますか	0. はい 1. いいえ
9	この1年間に転んだことがありますか	1. はい 0. いいえ
10	転倒に対する不安は大きいですか	1. はい 0. いいえ
11	6ヵ月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか	1. はい 0. いいえ
12	身長 cm 体重 kg (BMI =) (注)	
13	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい 0. いいえ
14	お茶や汁物等でもせることがありますか	1. はい 0. いいえ
15	口の潤きが気になりますか	1. はい 0. いいえ
16	週に1回以上は外出していますか	0. はい 1. いいえ
17	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	1. はい 0. いいえ
18	周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあると言われますか	1. はい 0. いいえ
19	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	0. はい 1. いいえ
20	今日が何月何日かわからない時がありますか	1. はい 0. いいえ
21	(ここ2週間) 毎日の生活に充実感がない	1. はい 0. いいえ
22	(ここ2週間) これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった	1. はい 0. いいえ
23	(ここ2週間) 以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられる	1. はい 0. いいえ
24	(ここ2週間) 自分が役に立つ人間だと思えない	1. はい 0. いいえ
25	(ここ2週間) わけもなく疲れたような感じがする	1. はい 0. いいえ

運動 3項目以上に該当

栄養 2項目に該当

口腔 2項目以上に該当

閉じこもり

認知機能 1項目以上に該当

うつ 2項目以上に該当

10項目以上
に該当

(注) BMI=体重(kg)÷身長(m)÷身長(m) が18.5未満の場合に該当とする。

生活支援・介護予防サービス事業では、以下の表に該当する者を、事業対象者とする。

- ① 質問項目 No.1~20までの20項目のうち10項目以上に該当
- ② 質問項目 No.6~10までの5項目のうち3項目以上に該当
- ③ 質問項目 No.11~12の2項目のすべてに該当
- ④ 質問項目 No.13~15までの3項目のうち2項目以上に該当
- ⑤ 質問項目 No.16に該当
- ⑥ 質問項目 No.18~20までの3項目のうちいずれか1項目以上に該当
- ⑦ 質問項目 No.21~25までの5項目のうち2項目以上に該当

(注) この表における該当(No.12を除く。)とは、回答部分に「1. はい」または「1. いいえ」に該当することをいう。
 【厚生労働省 エビデンスを踏まえた介護予防マニキュアル改訂委員会：介護予防マニキュアル第4版, p.9-10, 2020】